

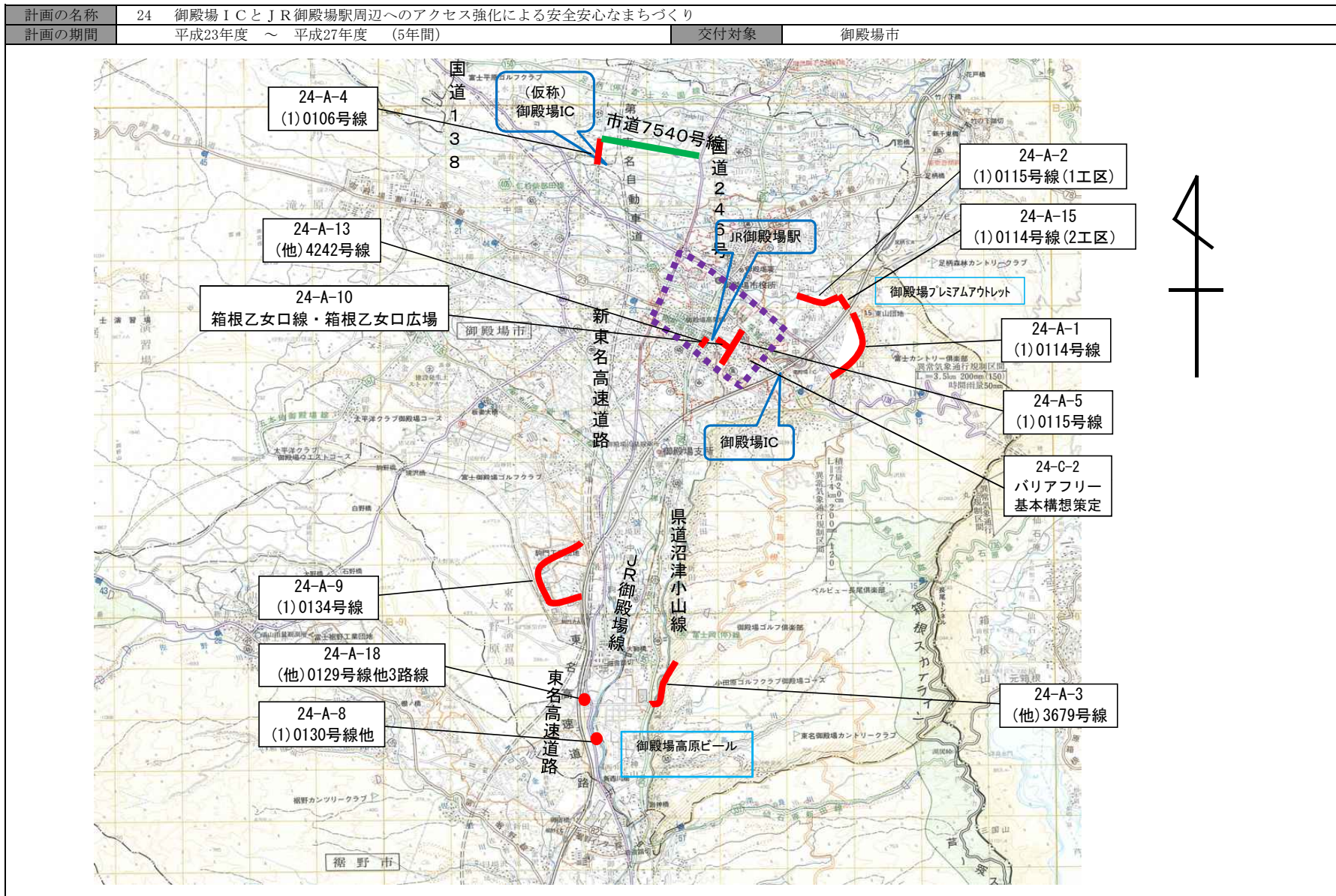
社会資本総合整備計画（第3回変更）

平成27年3月9日

計画の名称	24 御殿場 I C と J R 御殿場駅周辺へのアクセス強化による安全安心なまちづくり																
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象		御殿場市									
計画の目標																	
御殿場 I C と J R 御殿場駅周辺のアクセス道路を強化することにより利便性及び安全性の向上を図る。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
- 観光拠点から御殿場 I C 並びに J R 御殿場駅周辺への移動時間短縮。 - あんしん歩行エリア（新橋地区）内の交通事故件数を10%削減。 - 長寿命化修繕計画に伴う橋梁修繕の実施。																	
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
道路整備に伴う観光拠点から御殿場 I C までの移動時間の短縮率 （移動時間短縮率％）＝（Σ観光拠点からの移動短縮時間（分）／Σ現況移動時間（分））×100 H21あんしん歩行エリア（新橋地区）交通事故件数を基準に各年度の交通事故削減率を算出する。 （交通事故削減率％）＝（1－（当該年度交通事故件数）／（H21交通事故件数））×100 橋梁長寿命化修繕計画を元に橋梁の安全性の確保 （橋梁の安全率の向上％）＝（（対策完了橋梁数）／（要対策橋梁数））×100						当初現況値	中間目標値	最終目標値									
						(H23当初)	(H25末)	(H27末)									
						0%	-	4%									
						(H21統計) -	-5%	-10%									
						0%	-	100%									
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,366 百万円	A	2,359 百万円	B	0 百万円	C	7 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）	0.3%							
交付対象事業																	
A 地方道路整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
24-A-1	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	（1）0 1 1 4 号線 東山	現道拡幅 1.26 km	御殿場市						720	
24-A-2	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	（1）0 1 1 5 号線（1 工区） 鮎沢	バイパス 0.70 km	御殿場市						126	
24-A-3	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	（他）3 6 7 9 号線 町屋	バイパス 0.48 km	御殿場市						557	
24-A-4	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	（1）0 1 0 6 号線 柴怒田	現道拡幅 0.42 km	御殿場市						50	計画51へ移行
24-A-5	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	交安	（1）0 1 1 5 号線 新橋	自歩道整備 0.42 km	御殿場市						195	
24-A-8	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	修繕	（1）0 1 3 0 号線他	橋梁補修 5 橋	御殿場市						50	
24-A-9	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	修繕	（1）0 1 3 4 号線 駒門	舗装補修 1.45 km	御殿場市						135	
24-A-10	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	交安	箱根乙女口線・箱根乙女口広場	自歩道整備 0.28 km	御殿場市						93	
24-A-13	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	交安	（他）4 2 4 2 号線	自歩道整備 0.06 km	御殿場市						163	
24-A-16	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	（1）0 1 1 4 号線（2 工区） 東山	現道拡幅 0.30 km	御殿場市						240	
24-A-18	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	（他）0 1 2 9 号線ほか3路線 市内	道路新設 0.71 km	御殿場市						30	
合計																2,359	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素となる事業名		事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
24-C-2	調査・計画	一般	御殿場市	直接		調査・計画	御殿場市バリアフリー構想策定事業	バリアフリー基本構想策定	御殿場市						7	
合計															7	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
24-C-2	道路事業とあわせてバリアフリー構想を策定し、特定事業を位置づけることで、計画的かつ継続的にバリアフリー施設整備を推進する。															
その他関連する事業																
番号	事業 種別		交付 対象				要素となる事業名		市町村名						全体事業費 （百万円）	備考
24-A'-4	道路		御殿場市				（1）0106号線 柴怒田		御殿場市						748	計画51へ移行
合計															748	
A'		748百万円		B'		0百万円		C'		0百万円		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$			0.2%	

社会資本総合整備計画 参考図面（第2回変更）



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 24 御殿場ICとJR御殿場駅周辺へのアクセス強化による安全安心なまちづくり

交付団体名: 御殿場市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	○
2) 上位計画(御殿場市都市計画マスタープラン)と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が期待できる。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年5月17日

計画の名称	24 御殿場 I Cと J R御殿場駅周辺へのアクセス強化による安全安心なまちづくり										平成23年6月14日		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象		御殿場市					
計画の目標	御殿場 I Cと J R御殿場駅周辺のアクセス道路を強化することにより利便性及び安全性の向上を図る。												
計画の成果目標（定量的指標）													
- 観光拠点から御殿場 I C並びに J R御殿場駅周辺への移動時間短縮。 - あんしん歩行エリア（新橋地区）内の交通事故件数を10%削減。 - 長寿命化修繕計画に伴う橋梁修繕の実施。													
定量的指標の定義及び算定式													
道路整備に伴う観光拠点から御殿場 I Cまでの移動時間の短縮率 (移動時間短縮率%) = (Σ観光拠点からの移動短縮時間 (分) / Σ現況移動時間 (分)) × 100 H21あんしん歩行エリア（新橋地区）交通事故件数を基準に各年度の交通事故削減率を算出する。 (交通事故削減率%) = (1- (当該年度交通事故件数) / (H21交通事故件数)) × 100 橋梁長寿命化修繕計画を元に橋梁の安全性の確保 (橋梁の安全率の向上%) = ((対策完了橋梁数) / (要対策橋梁数)) × 100										定量的指標の現況値及び目標値			備考
										当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
										0%	-	4%	
										(H21統計) -	-5%	-10%	
										0%	-	100%	
全体事業費	合計 (A + B + C)	2,366 百万円	A	2,359 百万円	B	0 百万円	C	7 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)		0.3%		

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) ー：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

A 地方道路整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27				
24-A-1	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(1) 0 1 1 4 号線 東山	現道拡幅 1.26 km	御殿場市						720	△	H31	
24-A-2	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(1) 0 1 1 5 号線 (1 工区) 鮎沢	バイパス 0.70 km	御殿場市						126	△	H29	
24-A-3	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(他) 3 6 7 9 号線 町屋	バイパス 0.48 km	御殿場市						557	△	H29	
24-A-4	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(1) 0 1 0 6 号線 柴怒田	現道拡幅 0.42 km	御殿場市						50	△	H30	
24-A-5	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	交安	(1) 0 1 1 5 号線 新橋	自歩道整備 0.42 km	御殿場市						195	△	H28	
24-A-8	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	修繕	(1) 0 1 3 0 号線他	橋梁補修 5 橋	御殿場市						50	○		
24-A-9	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	修繕	(1) 0 1 3 4 号線 駒門	舗装補修 1.45 km	御殿場市						135	○		
24-A-10	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	交安	箱根乙女口線・箱根乙女口広場	自歩道整備 0.28 km	御殿場市						93	△	H29	
24-A-13	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	交安	(他) 4 2 4 2 号線	自歩道整備 0.06 km	御殿場市						163	△	H29	
24-A-16	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(1) 0 1 1 4 号線 (2 工区) 東山	現道拡幅 0.30 km	御殿場市						240	△	H29	
24-A-18	道路	一般	御殿場市	直接		市町村道	改築	(他) 0 1 2 9 号線ほか3路線 市内	道路新設 0.71 km	御殿場市						30	—	未実施	
												合計					2,359		

B 関連社会資本整備事業

[illegible]

C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27			
24-C-2	調査・計画	一般	御殿場市	直接		調査・計画	御殿場市バリアフリー構想策定事業	バリアフリー基本構想策定	御殿場市						7	○	
										合計					7		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
24-C-2	道路事業とあわせてバリアフリー構想を策定し、特定事業を位置づけることで、計画的かつ継続的にバリアフリー施設整備を推進する。																

その他関連する事業											
番号	事業 種別		交付 対象	要素となる事業名			市町村名		全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
24-A'-4	道路		御殿場市	(1) 0106号線 柴怒田			御殿場市		748	△	H30
合計									748		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ (1) 0114号線【東山】等の現道拡幅事業により、御殿場 I C への円滑な交通が可能となり、結果として、御殿場 I C 周辺の渋滞が以前に比べ緩和された。 ・ (1) 0115号線【新橋】等の自歩道整備により、J R 御殿場駅を中心としたあんしん歩行エリア（新橋地区）内の歩行者交通事故件数が減少し、結果として、駅周辺での快適で安心な都市空間の形成につながった。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（道路整備に伴う観光拠点から御殿場 I C までの移動時間の短縮率）	最終目標値	4.0%	目標値と実績値に差が出た要因	地権者との交渉や、他機関との協議が難航して事業進捗に時間を要したため、計画期間中に現道拡幅やバイパス事業が全線完成せず、目標としていた移動時間の短縮が達成できなかった。
		最終実績値	1.0%		
	指標②（H21あんしん歩行エリア（新橋地区）交通事故件数を基準とした各年度の交通事故削減率）	最終目標値	-10.0%	目標値と実績値に差が出た要因	駅周辺の歩道整備により、事故件数は年々減少し、最終目標値を大きく上回ることができた。
		最終実績値	-31.4%		
	指標③（橋梁長寿命化修繕計画を元に橋梁の安全性の確保）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に対象橋梁の補修を行うことで、目標を達成した。
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 特記事項(今後の方針等)

・計画期間終了後も、社会資本整備総合交付金を用いて、現道拡幅やバイパス等の事業を推進していく。今後も必要な対策を着実に進め、渋滞解消を図り円滑な都市交通を実現するとともに駅周辺における快適で安心な都市空間の形成を図る。